

ドラッグストアの食品POSデータ提供をはじめ1年が経ちました。食品スーパーとの違いを含めてドラッグストアの販売情報を定期的に、お伝えしていこうと思います。

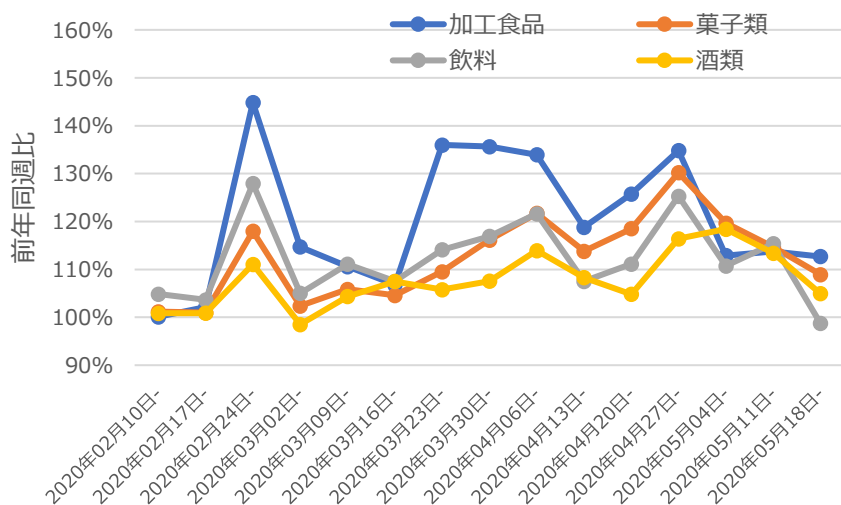
【トピックス】

新型コロナウイルス感染予防による在宅需要の高まりにより、ドラッグストアでも食品販売金額は前年を大きく上回る。緊急事態宣言の解除と合わせて落ち着いてきているが、加工食品では113%といぜん高いレベルにある。

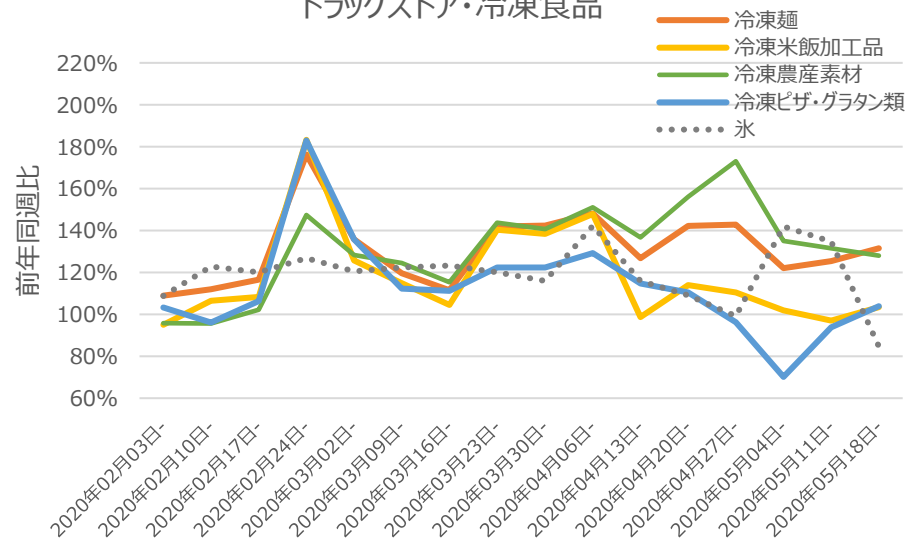
ドラッグストアでは、初期の段階から冷凍食品が好調だった。4月中旬以降、明暗が出ている。冷凍麺（パスタなど）は引き続き好調。冷凍ピザ・グラタンや冷凍米飯加工品は前年並みになってきた。在宅需要の拡大は、ランチ需要のシフトによるところが大きいと考えられる。このため、味のバラティがあるパスタなどは定着しているようだ。（パスタなど乾燥麺は品薄が続いている）

※冷凍農産素材は、フライドポテト用細切ポテト、ブロッコリー、えだ豆など

ドラッグストア・食品・金額前年同週比



ドラッグストア・冷凍食品



ドラッグストアの商品構成を確認する【冷凍食品】

(新型コロナウイルス関連消費の影響を除くため、昨年10月から12月のデータを使用)

- ドラッグストアでの冷凍食品は、前年同期比:105%と好調。
- 食品スーパーに比べると、冷凍麺、冷凍米飯加工品といった主食となる商品の構成が高い
(ドラッグストア:35.9%⇔食品SM:30.3%)
- 特に、冷凍麺は前年同期比:113%と成長商品になっている。メーカー別では、新商品/リニューアルのあった日清フーズのママブランドのスパゲティが販売店の拡大もあり、押し上げている。

【ドラッグストア】
冷凍食品内構成比

細分類名称	金額 構成比	前年 同期比
冷凍食品計 (氷除く)	100	105%
冷凍調理	43.5	103%
冷凍麺	22.7	113%
冷凍米飯加工品	13.5	103%
冷凍水産素材	6.2	128%
冷凍農産素材	5.9	99%
冷凍ピザ・グラタン類	3.9	96%



【ドラッグストア】
冷凍麺内メーカーシェア

メーカー名称	金額 構成比	前年 同期比
日清フーズ	24.7	125%
日本製粉	23.8	118%
日清食品冷凍	17.9	98%
テーブルマーク	15.2	114%
キンレイ	6.9	118%
マルハニチロ	4.8	109%

ドラッグストア食品 概要



約**380**店舗



食品データ**全て**

ドラッグストアPOS先行ユーザー様の声
提案に厚みが出ました！

KSP-SP営業担当まで、お問い合わせください

<店舗>

- ◆収集対象店舗 食品扱い比率の高いドラッグストア
(概ね食品比率25%以上の店舗が対象)
- ◆提供店舗数 2020年4月:約380店舗
- ◆エリア区分 全国(エリアデータ提供準備中)

<ご提供方法>

- ◆定期契約(KSPワイド ドラッグストア食品)
自由に食品実績を検索いただけます 月額5万円+諸費用(要年間契約)
- ◆スポットデータ(KSP-POS データ提供)
ご要望に応じてデータをご提供いたします 10万円～

詳細は弊社営業担当までお問い合わせください

お問合せは
こちら

食品スーパーマーケット、ドラッグストアの食品POSデータなら、弊社にお問合せください。スポットでの提供も可能です。

お問合せダイヤル :03-5472-7652

mail : ksp-info@ksp-sp.jp

株式会社KSP-SP 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-1 No.R浜松町 4F